

ったので、前年対比でおよそ44%と半分以下となった。減少した理由としては、第1波があった4月11日から5月24日までの計44日間を休館したことに加えて、感染拡大の警戒レベルに合わせ館内の入館者数の制限をしたことの影響があったと考えている。

●土木費

公園長寿命化計画策定委託料

問 公園長寿命化計画の策定に至った経緯は。

答 本市の都市公園は供用開始から30年以上経過した公園が全体の66%を占めており、老朽化が著しく、従来の事後保全型の維持管理を続けると将来の維持管理コストが懸念され、適切な維持管理の継続が困難と考えている。今後は予防保全の考えを取り入れた維持管理に転換していく。

問 調査の対象となった公園数は。

答 35箇所の公園が長寿命化計画の対象となり、遊具等施設の健全度調査を実施した。



生命の海科学館

問 公園長寿命化計画の今後の方針は。

答 令和3年度は八百富公園の施設更新を実施。今後は、計画に基づき修繕と更新を行っていく。

●教育費

生命の海科学館管理運営事業

問 プレシオ広場天井改修工事を行った理由と内容について伺う。

答 科学館の天井が老朽化し、塗装がはがれ、階下に落ちてくるという危険な事

態となったため、全面的に張り替える工事を行うこととなった。

また、開館当初からプレシオ広場に吊り下げられていた首長竜の全身骨格化石が20年以上経過しており、現在の学説にそぐわない部分が多くなってきた。

化石のリニューアルの時期を想定していたわけではないが、工事に伴い、化石を必ず取り外さなければならぬため、最新の学説を反映させた形で併せてリニューアルすることとなった。

●水道事業会計

収益的収支の状況は、1億5512万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は1億5627万円です。

●下水道事業会計

収益的収支の状況は、1億5762万円の純利益を計上し、当年度未処分利益金は4332万円です。

●病院事業会計

収益的収支の状況は、5億3067万円の純利益を計上し、当年度未処分利益金は136億6894万円に減少しています。

●最近3カ年のモーターボート競走事業会計からの繰出金

会計名	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		千円	千円	千円
一般会計		4,108,674	2,000,000	0
特別会計	土地区画整理事業	1,540,000	800,000	200,000
	下水道事業	-	-	700,000
企業会計	下水道事業	750,000	600,000	-
	病院事業	1,512,400	1,800,000	1,500,000
合計		7,911,074	5,200,000	2,400,000

※下水道事業は令和元年度から企業会計に移行しています。

●モーターボート競走事業会計

年間の売上額は1331億7503万円で、前年度比31.4%の増、本場入場人員は14.4%の減となっています。

条例の改正

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

(第53号議案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、記録、作成など書面で行うものについて、書面に代えて、電磁的記録により行うことができることを包括的に定める改正を行います。

●文教委員会での主な質疑
問 本条例改正により、保護者にとってはどのようなメリットがあるか。
答 現在、書面で行っている保護者との連絡等をメールやスマートフォンアプリやケーシヨン等の方法で提供できるようにします。

保育士の業務改善と保護者の利便性向上の観点から保育園業務のICT化を検討しており、業務システムの導入により、保護者との連絡等がより円滑になると考えています。

問 電磁的記録を行うことで、保育事故等の記録が改ざんされてしまうおそれはないか。
答 過去の記録について改ざんを防止する設定を施すなど、ICTシステムを導